

第38回 第3章 現代社会の諸課題

第1節 日本社会の諸課題

講師

地域社会を活性化するにはどうすればよいか？

藤井 剛

学習のねらい

スーパーや商店が撤退して買い物が難しくなったり、人口が減少したり高齢化して地域のお祭りなどができなくなったりしている地域が増えています。また、地方分権が進められていますが、地方には財政面などの課題がたくさん残っています。今回は、「地域社会を活性化するにはどうすればよいか？」を考えていきましょう。

調べておこう
覚えておこう

高校生議会／高校生模擬議会／少年町長・少年議会／
主権者／シャッター商店街／過疎過密／ストロー現象／
町村総会／若者議会／地方分権／請願権／限界集落／道の駅

※下記の空欄 _____ を「調べてみよう 覚えておこう」の語句で完成させましょう。

POINT 1

地域社会の現状は？

日本は高度経済成長期以来、人口が大都市圏に集中して、^① _____ の問題などが深刻化しています。また、新幹線や高速道路網が日本全国に張り巡らされた結果 ^② _____ がおきています。

過疎化などで、その集落の人口の50%以上が65歳以上の高齢者になり、冠婚葬祭や集落の維持などが困難になりつつある ^③ _____ と呼ばれる集落も増えています。また、高齢化や人口減少で議員のなり手が無くなり、地方自治法に基づいて議会を廃止し、有権者が直接、予算などの議案を審議する ^④ _____ の設置を検討する自治体も出てきました。

地域活性化の解決策の一つが ^⑤ _____ です。地方分権一括法により、地方公共団体の裁量の幅が広がり、地域にあった環境を整えられるようになっていきます。

POINT 2

若者の活躍の場

18歳選挙権となったこともあり、地域の活性化への意見を行政に伝える ^⑥ _____ をはじめた自治体も増えています。

愛知県新城市では、若者が活躍できる街にするために、1,000万円までの予算提案権を持つ ^⑦ _____ が始まっています。また、山形県遊佐町では、やはり予算を45万円持った ^⑧ _____ があります。少年町長や議員は、町内在住・在学の中学生と高校生に選挙権・被選挙権があります。

POINT 3

地域を活性化するために

高校生が自ら地域の活性化のために活動している例として、商業高校の生徒が、いわゆる^⑨.....にお店を出したり、農業高校の生徒が地域の農家と、その地域の特産品を使ったジャムやクッキーなどを開発し、^⑩.....などで販売したりする例があります。

青森県では、「県の活性化」について高校生がグループワークを行い、解決策を県議会議員にプレゼンテーションする^⑪.....が行われています。高知県の高校では3年間かけて市や県の課題を探り、解決策を知事・市長や県議会議員などへプレゼンテーションを行っています。

このように、若者などが地域の課題を探り、解決策を考え、提案していくことは、日本国憲法第16条の^⑫.....と関連しています。私たちは、^⑬.....として、そして地域の担い手として、自分の住んでいる地域をよりよくしていこうと行動することができることを知っておいてください。

Blank lined area for student response.

Answer key box containing 13 numbered items: ① 過疎過密 ② 人口減少現象 ③ 限界集落 ④ 町村総会 ⑤ 地方分権 ⑥ 高校生議会 ⑦ 若者議会 ⑧ 少年町長・少年議会 ⑨ ショッピングセンター商店街 ⑩ 道の駅 ⑪ 高校生模擬議会 ⑫ 請願権 ⑬ 主権者